



### 「ものごと人間関係も最後は終わる・切れる→どう意識するかが大事」

KSCE で不登校・ひきこもり経験者・対人関係が不得手な人などのいろいろなサポートをしている活動も大検予備校時代を含めて19年目になるのですが、今でも様々な気づきや発見があります。

人のサポートをしている以上、同じパターンで何とかなることはなく、100人いれば100通りのサポート、支援をするしかないのは普通なんです。部分的にはやはり傾向やパターンに入れてもいいようなことはあります。そういうことがあると、今回俺が書くかな、と書きちゃっています。今年度は私が書いている頻度が多いと分かりながら（笑）

次月以降は今年度の新しいスタッフなどに回して書いてもらおうと考えています。

今回のテーマはこの活動の中で利用生（相談者だったかも）の言葉からでした。よくよく考えてみればだし読まれた皆様も当たり前やん、とか思われるでしょうがなるほど、と思ったんですよ。

友人でも家族でも恋人でも人間関係は切れやすいとか切れにくいとかはあるもののいつかは別れが来るもの、物体でもいつかは基本的には壊れるものなくなるもの、物事（イベント・活動・習慣など）もなんでも終わりが来るもの、なんですよ。

すると途中は楽しいとかうれしいとか気持ちいいとかいいことの流れがあって、そしてその流れの間は人間関係でも活動でも継続することが多いのですがどこかで終わりが来る（人間関係は別れが来る→気持ちの部分からでも物理的な部分からでも・物は壊れる・活動もどこかで終わりが来る→イベントは1回単位で終了時間が来る・事情が変わるとイベントそのものが最終回を迎えることもあります）わけですよ。

当然どれも長く続くように努力だったり思いやりだったりすることは大事です。

しかし、どこかでくる終わりが来た場合は人間

の心情としてイベントの終了くらいなら寂しさだったりもの悲しさだったりですが人間関係の終わりは悲しさや寂しさが大きかったりして心に大きく響きます。

そうすると心の中の取り方次第では最後に多くはマイナス要素のことがあるのでそればかりになってしまいます。プラスのことを継続させていくこと自体が多くできていればこのマイナス要素は少しは減りますが多くは最後に来るこのマイナス要素をどう受け止めるかが大きなポイントになるわけです。

例えばイベントの終了なら終わったときの寂しさを意識するより、イベント中の楽しさを思い起こすことを多くして楽しかったと思えるようにする、人との別れもそれまでの楽しくかかわっていた日々を考えて良かったと思えることを多くする（終わりに原因が考えられるなら今後の人間関係に生かせるようにすることは別のプラスの一つです）ことで少しでもプラスを意識することができるようになることは楽になるんだろうな、と。

そんなん分かてる、となる方も実践できているかどうかはどこまでかは分からないし、なかなか意識がマイナスになりがちであるようなときは難しいことだと思われま。難しい時にもそうやっていけるように日々からそういう意識を持つ、考えることが大事かもしれません。

こう書きながら私自身も疲れてきたりすれば（私的にも身内が亡くなったり、自身が水疱瘡で入院したりとかいろいろ今年に入って起こっていますが）マイナスを考えがちになってこのことをできていない時もあります。できていないことも逆のプラスになるくらいに楽観思考とは違うプラス思考を少しでも多くしていきたいと思います。

そして、これからも皆さんがそうしようと思えたり思うことに対して寄り添ってのお手伝いをしていけたらなと思います。

KSCE もいつかは終わるのかもしれないですがその終わりがだいぶ先になるように代表としても頑張っていきます。

（南山 勝宣）

## カウンセラーの目

### 「機械の魂」

アニミズムというコトバがある。  
生物、無生物を問わず、この世界に存在するモノには靈魂が宿るという考えで、原始的な文化の中でしか存在意義を持たないように思っていたのだが、「AI・人工知能」などというコトバが日常会話の中に入ってくるようになり、アニミズムというコトバに新しいイメージが付け加わったような印象を受ける。ちょっと前まで「IT」というコトバ (information technology) だけだったのが、インターネットの普及と充実に伴って、個人の移動体端末が「携帯電話」から「スマートホン」になると「ICT」というコトバ (information and communication technology) の方が主流になり、この状況に「AI・人工知能」が絡むことで「IoT」というコトバ (Internet of Things) まで出現してきた。

100年くらい前には土間のヘッツイさんの所で下働きの若い娘がやっていた作業を、今は厚釜IH炊飯器が内蔵された簡易なAIで代行することになっている。

「IoT」は、厚釜IH炊飯器をネットに接続して、さらに大規模なAIと連携させようと考えていたりする。

100年前に薪の煙に涙目になりながら火吹竹を口にしていた下働きの娘の思うことと、世界規模のネットワークに接続された厚釜IH炊飯器を調整しているAIの思うことは、どれほど、どう、違うのだろうか……ということを考えてみるができる時代になってきた。

京都では「京都一条妖怪ストリート」というイベントというか地域活性化活動をしていたりするが、付喪神 (つくもがみ) などと言って、「器物百年を経て、化して精霊を得てより、人の心を誑す」という考えが存在するとのこと……無生物である道具類も人と触れ合って100年過ぎすと魂を宿すようになるという。

100年は長いなあ～と思っていたが、その昔 (と言っても40年ほど前)、真空管からトランジスタへと発展した電子機器の世界でICが作られるようになり、4ビットのCPUが出現し、ICが大規模になってLSIが作られるようになると、CPUは8ビット、16ビットと急速に発展していった。その頃に「いま、コンピューターの世界は、日進月歩ではなくて、秒進分歩で発展している」というセリフを良く耳にした。(その頃のコンピューターの世界では「パソコン」というコトバは出始めて、時代の注目はメインフレームという大型演算装置に向いていたので、「コンピューターの世界は」というセリフが使われていた。)

そのセリフを信じて、「昔の釜」が付喪神になる100年が、「厚釜AI炊飯器」にとってどのくらいの長さになるのか計算してみた。

「一日」が「一秒」に相当するという計算だと (24時間・60分・60秒) で86400倍の時間経過になる……「一月」が「一分」に相当するという計算だと (約30日・24時間・60分) で43200倍ということになる。どちらを採用するかで2倍の差がでてしまうが、両方を計算すると、100年 (とりあえず365日の100倍・24時間) で考えると、876000時間で、これを割算すると、「日：秒」で10時間ほど、「月：分」で20時間ほどになる。

厚釜IH炊飯器が「器物時を経て、化して精霊を得てより、人の心を誑す」までにかかる時間は長くて20時間、速ければ10時間ということになる。

買って来たばかりの厚釜IH炊飯器に、その日の夜、米を入れて、翌朝の朝ごはんに間に合うようにセットすると、ご飯が炊き上がった頃には「化して精霊を得てより、人の心を誑す」状態にもなっているということだ。

そして「IoT」の普及した時代になれば、「AI・人工知能」がらみの機器は全て20時間ほどで「付喪神」として魂を持つようになるということにもなる。今の所、厚釜IH炊飯器も電子レンジ、洗濯機、液晶テレビも、本格的にネット接続していないので、時代が「IoT」全盛になるのを待つことになるけど、すでに大規模ネットワークに接続していて、ずっと持ち主である人間とタッチパネルで触れ合っていて、AIとも連携している「あなたのスマートホン」は電源を入れてネット接続してからどの位の時間が経過していますか……。

ネットやメールやラインの情報を送受信している背後で「スマホの付喪神」は、何を、どう感じ、考えているのでしょうかね……。

(高石 公資)

## 届けていただいた方ありがとうございました

2017年8月16日

五山送り火を見るイベントで出かけている途中でデジタルカメラを落としてしまいわからなくなりましたが上京警察に届けられており、8月22日に無事返していただきました。

届けた方がお礼辞退とのこととどちらの方がわからないのですが、拾っていただいた方、この紙面にて深く御礼申し上げます。

## ボランティアスタッフ・イベント実施日お手伝いスタッフ募集中

現在スタッフ数が11名と多い時の半分位で活動しており不登校経験者・ひきこもり経験者・対人関係が不安な方のサポートをお手伝いいただける方を募集しております。詳細はホームページの募集ページをご覧ください。

木曜日以外不足状態、イベント実施日も不足状態です。皆様のお力をお貸しください。



## イベント紹介・報告

☆8月2日3日  
2017年度第1回  
高校卒業程度認定試験

受験された皆様お疲れ様でした。第2回は11月11日12日です。

☆8月5日  
アポロ活動  
京の七夕鴨川納涼へ行こう

毎年恒例の京の七夕鴨川納涼に行きました。小雨の中でしたが会場は盛り上がっていて各都道府県の物産の販売は毎年の楽しみです。いろいろ食べてきました。



☆8月16日  
アポロ活動 五山送り火

昨年はどしゃぶりでもともに見えなかった大文字今年はきれいに見ることができました。



☆8月10日  
集い場○レクリエーション部 深泥池

北山の深泥池に遊びに行きました。森林浴でリフレッシュした後、植物園の喫茶店でお茶を楽しみました。



☆8月19日  
アポロ活動 夏の食事会

毎年7月に行っていたものを今年はお盆明けに設定して実施しました。  
7人という人数でしたが楽しかったです。  
ただ時期的に人数が少なめだったのを来年には参考にして設定したいと思います。



☆8月23日  
集い場〇活字倶楽部

今回は事前に皆さんの好きな本を聞いて、それについておしゃべりをしました。おすすめ本集も作りましたのでご覧ください。

☆8月26日  
集い場〇 散策部 八瀬方面

まだ暑い夏、八瀬の方に行き少しだけ涼を感じながらの散策でした。



## ものづくりかふえ

☆8月18日

各自がフェルト生地に羊毛フェルトをつけて作品を作りました。  
1日で終わらなかったものは来月以降に継続ですね。



## お知らせ

### ☆ 機関紙の購読または設置していただける方を募集しています

- ・当所の活動報告を行う機関紙「KSCE 通信」や案内三折パンフレット・各種活動チラシ・同居団体個別指導学習塾「個別教育予備校 MES」の三折パンフレットなどをおいていただける方・場所の情報を教えていただける方などを募集しています。
- ・個人で機関紙を購読という形でご支援いただける方募集しております。機関紙購読は送料込みで年3600円でご支援をお願いしております。メール添付による個人の方は2400円・関連団体や連携団体の方は原則無料で送付させていただきます。
- ・機関紙に広告を掲載させていただくことでの広告料という形式でのご支援も募集しております。
- ・機関紙は紙面による配布とPDF形式によるメール添付形式で行っております。

### ☆ 賛助会員・寄付会員を募っています

賛助会員は12000円／年

寄付会員は金額は任意です。どちらの会員も機関紙による活動報告をさせていただき、会員の種類・金額により、ものづくりかふえ活動での手作り品のお礼をさせていただきます。寄付会員の方は、良ければ機関紙に寄付の方のお名前を掲載させていただけると幸いです。

### ☆ 物品寄贈も随時募っています

衣類・雑貨・書籍など市役所前フリマに出店して販売できるものを随時募集しています。ゴミの減量目的のリユース活動として、フリマの収益は当所の運営に充当させていただきます。NPOの苦しい会計の手助けをしていただくと幸いです。また当所の学修サポート・フリースペース提供・フリースクール活動で使用できる教材・赤本・高校卒業程度認定試験対策問題集・教科書・教科書ガイド・問題集・マンガ・小説・知育玩具・パズル・ボードゲーム・カードゲーム・スポーツグッズ・収納関係（要事前相談）・OA機器・OAサプライ等を随時募集しています。宅急便（費用はお願いしています）・持ち込みなどをお願いしております。徒歩圏内は台車でのお伺いも可能です。賛同していただける方は電話・メールでお申し出ください。もしよろしければ、通信による活動報告や、通信へのお名前の記載をさせていただけると幸いです。

東京都世田谷区 匿名様、大阪府 岡崎様より寄贈いただきました。ありがとうございました。

（お名前掲載の許可をいただけた場合には氏名で掲載させていただきます）

### ○ 京都教育サポートセンターの活動をご支援ください

ボランティア募集・物品寄贈・賛助会員・寄付会員・などのお問い合わせはお気軽にお申し出ください。電話（075-211-0750）は火曜日～土曜日の11時から18時（時間外も代表在中時は対応いたします）メールは24時間受付 [soudan@ksce.jpn.org](mailto:soudan@ksce.jpn.org) まで。

## 集い場○

集い場○（サークル）は活動内容が決まっている中でその内容に対して参加者が集って交流をしたりしていくものです。

活字倶楽部	次回 10月18日水曜日	14時～
健康体操教室	次回 10月17日火曜日	14時半～
学食 Walk	次回 10月12日木曜日	
散策部	次回 9月30日土曜日	
	10月6日金曜日	ミーティング
レクリエーション部	次回 10月5日木曜日	ミーティング
ものづくりかふえ	次回 10月20日金曜日	15時～16時半

※アポロ活動・集い場○活動への参加には原則として  
事前申し込みが必要です。（内部生は事務所内活動は連絡なくても可能ですが  
変更の場合もあるので軽くスタッフに伝えるだけでもありがたいです）  
また利用生でない方の参加申込は初回に連絡先・名前・年齢が必要です。  
2回目には事前アンケートの記入をお願いいたします。

※集い場○やアポロ活動実施日の居場所利用について  
前納制のフリースペース利用内部生以外については下記の通りとします。  
◎事務所内活動で16時半までに終了するもの  
集い場○やアポロ活動日の居場所利用を17時までとします。  
17時以降（当所は原則18時までです）の利用は2000円必要になります。  
◎午前中実施のものは最大13時までとします。13時以降利用は1000円と  
します。  
◎他の出かけるイベントや17時を過ぎるイベント・集い場○活動に関しては  
終了1時間後までとします。

## アポロ活動

実施内容の詳細は毎月第1日曜日実施のスタッフミーティングによって翌月のスケジュールを確定させます。飲食中心の交流活動（クリスマス会・忘年会など）・他団体イベントへの参加（過去の実績：勇気の出るライブ参加・フリースクール野球大会参加）社会活動（商店街清掃活動・バザー活動）行事への参加（祇園祭・時代祭・京の七夕・十日戎他）がこの活動にあたります。実施期間の項目で記述した活動内容は毎年行っているものを記載しました。

## 編集後記

暑い夏が過ぎて過ごしやすい秋が来ました。最近の日本の傾向としては春と秋が短い傾向に感じます。この時期の時間を貴重に使っているいろいろやってみることもいいかもしれませんね。KSCEでもこの秋にいろいろイベントしてみたいと思います。変更などもありますのでKSCEブログやフェイスブックページ・ツイッター代表の各種SNSをよければチェックしてくださいね。（南山 勝宣）

# 2017年10月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5 集い場〇レクリエーション部 ミーティング	6 集い場〇散策部 ミーティング	7
8 アポロ活動 銅駝学区民体育祭参加	9	10	11	12 集い場〇 学食 Walk 特別篇 京都府庁食堂	13 アポロ活動 パレット清掃	14
15	16	17 集い場〇 健康体操教室	18 集い場〇 活字倶楽部	19	20 集い場〇 ものづくりかふえ	21
22	23	24	25	26	27	28
29 アポロ活動 ハロウィンパーティ (予定)	30	31				

## 10月 (9月7日 時点の予定)

9月30日(土) 集い場〇 散策部  
岡崎界限・京都市動物園

9月2日のミーティングで決定しました。作成物は欲しい方は実費必要です。

5日(木) 集い場〇 レクリエーション  
部 ミーティング 参加費無料

6日(金) 集い場〇 散策部 ミーテ  
ィング 参加費無料

8日(日) アポロ活動  
銅駝学区民体育祭参加 9時~16時

12日(木) 集い場〇 学食 walk 特  
別編 京都府庁食堂

13日(金) アポロ活動  
パレット河原町清掃活動日

17日(火) 集い場〇 健康体操教室  
14時半から 参加費無料

18日(水) 集い場〇 活字倶楽部  
14時から 参加費 内部・アポロ会員  
無料 その他200円

20日(金) 集い場〇  
ものづくりかふえ 15時 参加費無料

29日(日) アポロ活動 ハロウィンパーティ  
(予定) 詳細は決定次第ブログ・フェイスブ  
ックページなどで告知いたします。

※スケジュールは変更になったり追加される  
ことがあります。その場合は事務所掲示・フェ  
イスブックページ・ブログ・代表 SNS など告知  
いたします。

フェイスブックページ  
<https://ja-jp.facebook.com/ksce.apollo>  
Twitter ID 「ksceleader」  
ブログ [http://ksce.jpn.org/?page\\_id=1234](http://ksce.jpn.org/?page_id=1234)

※集い場〇と書いているものは集い場〇事業  
表記のないものはアポロ事業として実施して  
います。  
集い場〇・アポロ事業ともに平成29年度  
京都市による NPO 等民間団体の子ども若者支援  
促進事業の助成を受けて実施しています。

毎週日曜・月曜 お休み

KSCE 全般もしくは通信に関するお問い合わせ・ご意見は、下記までお願いします。

E-mail の場合 soudan@ksce.jpn.org、TEL/FAX の場合 075-211-0750、郵便は〒604-8005 京都府京都市中  
京区三条河原町東入ル恵比須町 439 早川ビル 6F 京都教育サポートセンター KSCE 通信係 まで。

2017年9月07日発行 特定非営利活動法人 京都教育サポートセンター